

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和08年03月30日

計画の名称	平生町宅地耐震化推進事業（防災・安全）													
計画の期間	令和04年度～令和06年度（3年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	平生町													
計画の目標	宅地耐震化を進め、災害時の被害を軽減するため、地震発生時に大きな被害が発生する可能性がある大規模盛土造成地の所在・規模等を調査・公表する。 さらに、安全性の把握を進めることで、災害リスクに対する県民の理解を深め滑動崩落による被害の未然防止を促進する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		13	A	13	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R4当初）	（R5末）	（R6末）
1	大規模盛土造成地のうち、優先度評価を実施する盛土を0か所（R4）から3か所（R6）に増加（第二次スクリーニング計画策定）			
	基礎資料整理、現地踏査、優先度評価 優先度評価実施箇所/3か所	0%	100%	100%
2	優先度評価を実施した大規模盛土造成地のうち、危険性の検証を行い、検証結果を宅地所有者に情報提供する盛土を0か所（R4）から1か所（R6）に増加（第二次スクリーニング）			
	現地踏査及び安定計算等の実施、箇所別危険性確認結果の土地所有者への情報提供 情報提供箇所/1か所	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：A13-001、A13-002												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	平生町	直接	平生町	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査	第二次スクリーニング計画策 定	平生町	■					2		未策定
	A13-002	宅地耐震	一般	平生町	直接	平生町	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査	第二次スクリーニング場所 1か所	平生町		■	■			11		未策定
											小計						13		
											合計						13		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
平生町 建設課	令和8年3月23日
	公表の方法
	平生町ホームページにおいて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	大規模盛土造成地の優先度評価を実施することにより、町内の大規模盛土造成地に対する安全性把握調査の必要性を把握ができた。また、第二次スクリーニング調査の計画的な実施が可能となったことから、町民が安心して暮らせる地域づくりに貢献できた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
町内3か所の大規模盛土造成地について、第二次スクリーニング計画現地調査により調査対象に変状等がみられなかったことから、当面は変状などの経過観察を行う。経過観察の結果、異常が認められた場合には第二次スクリーニング実施の必要性や時期の検討を行う。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
2	最 終 目標値	100%	1. 第二次スクリーニング計画策定の実施結果から、2. 第二次スクリーニングを不要と判断し、実施しなかったため。
	最 終 実績値	0%	